

平成18年度第6回神岡地域協議会会議録

平成19年2月21日(水)午前9時30分
於 神岡福祉センター

出席委員

石山 美恵子	工藤 正悦	今 裕子	小林 厚子
斉藤 兼光	斉藤 博伸	佐藤 康晴	鈴木 和栄
鈴木 百合子	竹原 健子	細谷 洋造	

欠席委員

小田原 博	今野 美幸	進藤 純雄	小林 重幸
宮原 和恵	武藤 良仁		

当局出席者

支所長	鈴木 三郎	地域振興課長	佐藤 良幸
地域政策考査員	高橋 豊幸	地域振興課副主幹	高橋 勇
地域振興課副主幹	高橋 誠		

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名について

議長指名(6番小林委員、7番斉藤委員)

5 議題

議長

それでは議題に入ります。地域枠予算事業(18年度実績見込)について、事務局から説明願います。

地域政策考査員

《資料に基づき概要説明》

議長

はい、どうもありがとうございました。ずいぶん範囲が広いわけですが、18年度事業の実績について監査とか報告とかありますか。

地域政策考査員

18年度事業はまだ決算なっていませんので今はありませんが、いずれ監査委員事務局から連絡があり実施されると思います。

議長

18年度の年度途中ですが、みなさんからご意見を伺いたいと思います。

斉藤（兼）委員

ポイントをつかめないままにこれまで来てしまいましたが、2月1日発行の地域協議会便りはタイミングが良かったと思います。地域協議会はどのようなメンバーでどんなことをしているか、一般の方に知らせることが出来たと思います。地域枠事業は市の方針に合っていたか若干不安もありました。

議長

はい、どうもありがとうございました。

細谷委員

今まで1年間やってきた中身とすれば、確かに物足りないといった面ももちろんあるわけですが、地域協議会というものに対して、私たち自身が十分な認識を持たない状況の中で取り組んできたが、かなりいいものでなかったかなと私自身は思います。

また、実際に携わっている地域振興課の職員が頑張ってくれたことを、私自身が認識出来たことも良かったと思います。私たちが積極的にまちのことを提言したりすると、かなり手助けになってくれる方々がいるんだということが、お互い認識出来たと思います。そういう意味では、市長が言っている住民参加の協働のまちづくりを、今後とももっと広げていく素地というものが、お互いに認識出来たんじゃないかという意味で、私たちが協議会に入ってきた意味が大きかったと思ってます。

今の予算枠の問題でいきますと、この前大曲の市会議員の方とお話する機会がありましたが、「神宮寺駅舎出来るのか？何となるんだ」と言われましたが、市会議員が分からないのかと思いましたが、その辺のところ、もしよろしかったらお知らせして頂けませんか。

それから、印象に残ったのは商工会青年部の方が、大きいイベントの出来る入れ物を作って欲しいという要望があったんですが、それは非常に大切なことなんだと思います。この前秋田市でタクシーに乗って、秋の国体のことちょっと話したら、売上なんかそんなに伸びないよと言うお話しでした。昭和36年以来、全国から人が集まるイベントは40何年ぶりなのに、それでもその程度の認識です。大仙市には大曲の花火年に1回必ずありますが、そういった入れ物を建てることによって、迎える私たちが、地域全体がそういったものを受け入れるという考えを持たないと、観光でも何でも発展していかないんじゃないかと思います。地域枠予算も市長の良い発案だったと思う。市民に参加を促すという意味で、非常に有効だったと思うんですが、そういった人を迎え入れるための大きい考え方、そういったものに対する心構え、そういった

ものが私たち一人ひとりにまだまだ欠けていると思っています。秋田は日本一の高齢化県になりますから、そういった意味でそれとどうのように整合させていくのか、そういったところまで考えていけるようであればならないと思います。そういったことも協議会を通じて考えさせられました。

議長

どうもありがとうございました。その他に。

工藤委員

初めは大変大きな荷物を背負ったなという感じでした。委員としての役目がぼやっとしていたのが本音でないかと思いました。委員としての役割はもっと住民の中に入っていった中で、何を考え何を望んでいるかを、意識的に把握していかなければならないと思っています。

小林（厚）委員

18年度は、協議会の中で要望したことで、出来なかったこともいろいろありましたが、その時点でその声を消してしまうんでなくて、これからも引き続き要望なり提言していくべきじゃないかと思いました。

それから、学校関係のことしか分からないんですが、各支所に学校教育課がなくなったことを知らなかったんですが、予算がすごく削られて厳しい状況なんです、小中学校、幼稚園もあります、各学校のいろいろな声をどのようにしてコミュニケーションをとって、要望をどのように届けていくか、ちょっとお聞きしたいと思いました。

支所長

確かに学校関係の部署はありません。予算も支所を通さないで要求と査定やってます。私の方で一切分からないんです。何が足りないのか何が欲しいのか、分からないんです。合併前はそういうことなかったんですが、制度上こうなってますが困った事態だとは思ってます。教育委員会の分室が嶽雄館にあります、学校教育の予算は本庁が一括して要求しているようなので、今のようない事態になっています。神岡町時代は学校教育の予算は十分あったが、合併したら平準化されて、学校の規模や生徒数によって配分されていると思うんだが、合併でがまんすることはがまんしなきゃということで、今のようない状態になっています。

地域振興課長

細谷委員から話のあった駅舎の件ですが、まちづくり交付金事業で駅舎と駅周辺を一体的に整備するというので、駅舎本体は19年度完成の予定でございます。駅周辺は20年度に予定されております。駅北側の道路も20年度完成の予定です。もう一つ関連事業として、幼保一体施設も19年度から工事が始まります。更に宅地造成事業も、新年度から分譲を開始する予定になっております。

会長

どうもありがとうございました。他にありませんか。

細谷委員

この前は天狗巣病の予算を頂いて、私たちも参加してやりましたが、来年度も計画しておりますが、ここで一言お礼を申し上げます。ありがとうございました。

議長

19年度地域枠予算の執行方針（参考例）とありますが、事務局より説明をお願いします。

地域政策考査員

《資料に基づき概要説明》

議長

ありがとうございました。みなさん何か質問等ありませんか。

細谷委員

神岡地区自治連合会が、19年度予算で神岡地域だけが7割提示されていると聞いたが、神岡の自治連は評価が高くて、今までずっとこうやられてきた経過があって、やはり合併したから予算が来るから作ったという連合会とは違う、今までの実績というものが評価されて7割認められている、としますと町で今までやられてきたことというのは妥当なものじゃないのかと思います。

19年度の執行方針は、全体的に見ますと、私も良いところを作っているんじゃないかと思います。交通拠点の駅に関してなんですが、私JRの社員なんで喜んでいますが、地域枠予算の5分の1なんですが、こういうふうになってくると、やる規模としても必要なんでしょうが、今までのお祝いとかやったイベントの、北檜岡の公民館の開設する時のお祝いとか、ドーム開設した時のお祝いとか、そういった意味合いからすると、金額的には整合性あるのかなと言う部分も少しあります。ただ、必要であれば使わなければいけないことで、これもまたやむを得ないのではないのかとも思います。その中身についてよく分かりませんので、そういった意味では、5分の1ここで使わせて頂くというのは私自身はうれしいんですが。

それから、施設の維持管理そういったものについては、来て頂く方にも協力を頂けるような、そんな話し合いをして頂けないかと思います。

それから、先程話あった教育関係者がまとめられたという話なんですが、実は私、教職員のみなさんといろいろな話をする機会が多いんですが、その問題がやっぱり出てきます。いろいろな形で不便になったと言ってます。その部分で地域枠でもし対応出来るのであれば、対応して頂けないものかと私も感じています。そういった声は、いろいろな所で出ています。そういった声を聞いて、対応して頂けないものかと思えます。

あと、私の地域の方々の高齢者と婦人部の交流で、福祉の方からも援助頂いた健康作り研修みたいなもの、第1・第3日曜日やっているようですが、そういった方々に、今回地域枠予算のことについてお話しをしたんですが、やっぱり自分たちで出さなきゃいけないようになってきている、というようなことも伺いました。これも検討頂ければありがたいなと思います。

議長

どうもありがとうございました。

地域政策考査員

自治連に対する補助金の額については、18年度40万円でしたが、新年度は30万円ということで、本庁の方からもいいだろうという話を伺っております。

それから、駅の予算の100万円の関係ですが、市長への提言という形で前にまとめておりましたが、その中で支所の空きスペースに展示出来ないだろうか、というお話しも出ておりました。そういった関係で、例えば具体的にどこの商店さんが参加出来るのか、詰めなきゃならない部分ですが、いずれそういったものを展示するとなれば、当然ショーケースが必要になってくるわけで、そういったものはかなり高額で、そうなればこのぐらいは必要になってくるだろうと思われま。これについては、いずれ新たな関係者の会といったものを、立ち上げないといけなだろうと思います。そして新しい情報を順次取り入れて、管理していかなければならないだろうと、そういった考え方でございます。

それから、学校予算の関係ですが、地域枠予算の中からストレートに紙代にするとか、そういうことは無理だと思います。今まで学校でやってきている事業の中で、地域枠として使えるものがあるれば、その部分で紙を買うなり何かをを買うなり、そういった流れしか出来ないのかなと思ってます。いずれ神岡地域の学校だけ、地域枠予算でとなると異論が出てくると思います。予算執行の基本路線を崩さないことが大事だと思います。昨年いろいろ話出ました学校の体育行事の関係もありますが、例えば講演会を開催するとか、そういったことで、別の角度から応援していくことが必要だと思います。いずれ学校の予算はかなり厳しいわけで、学校関係者の方々も苦労しているということは私も聞いております。しかし地域枠でそれを買うことは、今のところは厳しいものがあるのかなと思います。

最後に、高齢者の健康作りの研修ですが、今の保健サイドの健康作りの関係もありますし、秋田県の方でもこういった事業展開しているようですので、必ずしも地域枠予算が絡まなくても、カバー出来る状況のようでございます。

支所長

19年度地域枠予算の参考例ということで協議しておりますが、来年度これを認めて頂くと実行するという事です。ただ、19年度のこの項目はやってみなければ分からないし、年度途中でもこの項目に載ってなくても、住民の要望が強くてやった方がいいということであれば、変更という形で出来ます。ただ、予算上提案しなければならぬんでこのように書いてますが、1年間これ以外は絶対出来ないということではないです。本庁の総合政策課にも報告はしますが、これで確定したということではないので、この後8月になったり9月になったりした時に、住民の要求は多種多様ですから、この方がいいとか出てくると思うんです。この案は500万円に合わせて作ってありますが、この後いろいろ出てくると思うので、固まったものではないんです。地域協議会でもそういうことで、いろいろ議論して頂ければ非常にありがたいと思います。

議長

いろいろ説明して頂きましたが、その他にありませんか。

斉藤（兼）委員

この後1年間の執行方針の参考例が出されているわけですが、やはり安全安心が大事だし、地域の防犯の関係、交通安全なんかも継続していかなければいけないし、小中学校の部活の継続支援、これらもある程度参考例があれば良かったなという感じし

てますが、後は地域のボランティアかなり項目多いし、継続なってますがいいと思います。

それから、嶽の湯からの約100mの道路沿いですが、荒屋の町内会で草むしりなんかやってますが、正直言ってまともな木がほとんどない状態なので、あそこら辺も少し検討してもらいたいと思います。

それから、駅の関係の100万円、確かに大きいなという感じしてます。やはり言っているとおり、これからの活用方法を考えてやっていきたいと思います。

後は、松倉の水路の関係等いろいろありますが、やはり生活の安全安心の方もあれば良かったなと思います。

地域協議会では、このような相談して、このように地域枠の事業を決めたということ、広報して頂ければ良いかと思います。

議長

どうもありがとうございました。私からも一つ、地域枠予算の使い道について、もう少し縛られない使い方が出来ないかと思っています。それと、19年度には子どもの防犯関係が見えないようですが。

地域政策考査員

昨年子どもたちに防犯グッズ配付しましたが、今後は学校と連絡を取りながら、子どもたちの安全安心を考えていきたいと思います。それから、ボランティアの関係では、みどりの会では見守り隊の部分も兼ねながらの団体となっております。もし必要なら、この後新しい事業を考えることも出来ると思います

不登校や子どもの問題についての講演会等は別途考えたいと思います。

各委員さんからいろいろなご意見やご提案等ありますが、この後事業の見直しや組み替え等も可能ですので、更に細部を整理し対応してまいりたいと思います。

議長

みなさんこれでよろしいですか。他に何か。

工藤委員

去年は地区として、花壇の整備や見守り隊などいろいろなことをやったが、強制的でなく緩やかな形で活動を続けたら、結果的に大変良くいったと思っています。地域枠予算もうまく活用して活動につなげたらと思います。

議長

どうもありがとうございました。他にありませんか。

鈴木委員

自治連の会議でいろいろな要望があったようですが、危険なところにガードレールを設置して欲しいとか、街灯を設置してもらいたいとか、登下校時の安全とか、どのような要望があるものか教えてもらいたいんです。

地域振興課長

連合会の地区座談会で、自治会から要望あったんですが、数年前から要望されて解決されたものと、なかなか解決されてないものもあるんですが、ご理解願いたいと思います。要望は建設課サイドのお金のかかるものが非常に多く、神岡町時代から継続した要望になっているわけで、更に今財政状況が厳しい中で、地域枠の中で拾ってい

ける要望があるのかなということで、みなさんにも協議して頂きたいというのが現状でございます。

議長

よろしいでしょうか。

工藤委員

北檜岡地区には町内会三つあるわけですが、地区としての要望はどうなっていますか。

地域振興課長

北檜岡地区から国道に関する要望が二つ程出ております。今までは要望が出て、町が国土交通省に要望しておったわけですが、それもなかなか実現出来ないでおったんですが、地域住民が直接道路管理者である国土交通省に要望を提出するとか、いろいろな方法があると思います。また、受ける側は生の要望が非常に意味があるというか、そういうことで、市が要望するんでなくて、直接北檜岡の自治会が要望する、そういう方法もあると考えています。

支所長

20年ぐらい前から北神小学校の通学路、歩道の防雪柵の設置を要望してきたんですが、なかなか実現出来ないでいたんですが、今も作ってますが、今年は一気に最新型の防雪柵が設置されて良かったと思ってます。それからもう一つは、13号線から嶽の湯に入るところですが、秋田方面から来た時1台が右折出来ないと、ずーと北檜岡の上の方まで車が渋滞していて、これも国土交通省に要望していたんですが、これもなかなか実現出来ずにいましたが、ようやく出来ました。いずれ、長い時間がかかりましたが、ご理解願いたいと思います。

議長

ありがとうございました。ここで5分間休憩します。

《休憩》

議長

それでは再開いたします。前後しますが、地域枠予算の執行方針ということで、資料の内容でいいかということでみなさんにお諮りしますが、その前に事務局から。

地域政策考査員

《資料に基づき概要説明》

事業内容につきましては、本日の協議内容を踏まえ、先程も申し上げましたが、事業の追加や修正等柔軟に対応していきたいと思います。

議長

地域の課題と現状を踏まえた執行方針（参考例）ですが、いかがですか。

なければご承認と言うことでよろしいでしょうか。

地域政策考査員

先程から申し上げておりますが、本日の協議の中での委員のみなさんからのご意見ご要望等を反映した上で、修正した執行方針を作成しみなさんに送付します。そして来月の協議会で承認して頂くということに致したいと思いますので、よろしく願います。

議長

それでは次に入りたいと思います。市に対する要望提案について、事務局よりお願いします。

地域政策考査員

市に対する要望提案ということですが、その前に、市長が出席する第7回の地域協議会ですが、3月28日水曜日、午前10時、神岡庁舎3階会議室で開催されますが、平成19年度地域枠予算執行方針について、が主な議題となりますが、その他のところで市長と意見交換になると思います。

次に、市に対する要望提案ですが。

《資料に基づき概要説明》

6 その他

議長

ありがとうございました。何かありませんか。それでは他になければここで終了させていただきます。

7 閉会（11時45分）

神岡地域協議会運営規定第7条第2項の規定により署名する。

平成 年 月 日

会 長

会議録署名委員

会議録署名委員